

◆ 地内基幹送電線における最大「潮流実績」及び最大潮流実績発生日時の「運用容量値」(対象期間:2016年9月1日～2017年8月31日)

平成30年3月12日  
電力広域的運営推進機関

(運用容量超過理由) ※1 フリッジ  
※2 N-1電制(抑制含む)考慮  
※3 系統切替までの間の一時的な超過  
※4 災害による設備復旧途上による超過  
※5 想定を超える需要増による一時的な超過(設備対策済)

エリア:北海道電力株式会社

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	潮流方向		潮流実績値 (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	最大発生日時	空容量ゼロ (空きゼロ:○)	備考	
1	道央北幹線	275kV	西野変電所	→	西当別変電所	377	1,809	熱容量	2017年8月3日15時	—	道央東幹線2L停止
2	道央西幹線	275kV	西野変電所	→	西双葉開閉所	-663	1,357	熱容量	2017年1月31日9時	—	
3	道央南幹線	275kV	南早来変電所	→	西双葉開閉所	787	1,197	熱容量	2017年8月7日13時	—	道央東幹線1L停止
4	道央東幹線	275kV	南早来変電所	→	西当別変電所	730	1,038	熱容量	2017年8月18日14時	—	道央南幹線1L停止
5	苗穂北線	187kV	西当別変電所	→	苗穂変電所	375	696	熱容量	2016年12月16日17時	—	
6	篠路線	187kV	西当別変電所	→	篠路変電所	241	640	熱容量	2017年4月26日14時	—	
7	西札幌線	187kV	篠路変電所	→	西札幌変電所	-154	276	熱容量	2016年10月28日20時	—	
8	室蘭西幹線	187kV	西野変電所	→	西札幌変電所	557	615	熱容量	2016年12月16日15時	—	
9	室蘭西幹線	187kV	双葉開閉所	→	西野変電所	521	299	熱容量	2016年12月12日12時	○	
10	室蘭西幹線	187kV	西室蘭開閉所	→	双葉開閉所	464	276	熱容量	2016年9月1日15時	○	
11	室蘭西幹線	187kV	西室蘭開閉所	→	室蘭変電所	388	342	熱容量	2016年12月20日5時	○	
12	南九条線	187kV	西野変電所	→	南九条変電所	399	426	熱容量	2017年1月31日10時	—	
13	西小樽線	187kV	西野変電所	→	西小樽変電所	228	281	熱容量	2017年1月12日10時	—	
14	双葉幹線	187kV	苫小牧変電所	→	双葉開閉所	201	390	熱容量	2016年9月2日14時	—	室蘭西幹線(双葉～西室蘭)1L停止作業中
15	室蘭東幹線	187kV	苫小牧変電所	→	室蘭変電所	-268	184	熱容量	2016年12月19日19時	○	
16	追分線	187kV	南早来変電所	→	追分開閉所	573	584	熱容量	2017年1月31日9時	—	
17	追分恵庭線	187kV	追分開閉所	→	恵庭変電所	584	584	熱容量	2017年1月31日10時	—	
18	恵庭南札線	187kV	恵庭変電所	→	南札幌変電所	413	535	熱容量	2017年8月7日13時	—	道央東幹線1L停止
19	南札幌幹線	187kV	北江別変電所	→	南札幌変電所	214	369	熱容量	2017年1月3日19時 2017年1月11日20時	—	
20	北江別線	187kV	西当別変電所	→	北江別変電所	321	898	熱容量	2017年2月5日5時	—	
21	道南幹線	275kV	大野変電所	→	西双葉開閉所	483	1,127	熱容量	2017年4月14日5時	○	
23	函館幹線	187kV	北七飯変電所	→	双葉開閉所	191					
22	大野線	187kV	大野変電所	→	北七飯変電所	448	539	熱容量	2017年3月2日10時	上位系制約によるゼロ	制約要因 送電線No.023
24	道北幹線	187kV	西当別変電所	→	旭川嵐山開閉所	254	433	熱容量	2017年2月5日5時	上位系制約によるゼロ	制約要因 187kV奈井江幹線
25	旭川南線	187kV	旭川嵐山開閉所	→	旭川変電所	188	218	熱容量	2016年11月30日5時	上位系制約によるゼロ	制約要因 187kV奈井江幹線
26	名寄幹線	187kV	旭川嵐山開閉所	→	西名寄変電所	126	246	熱容量	2017年2月14日9時	○	
27	名寄幹線	187kV	西旭川変電所	→	旭川嵐山開閉所	129	170	熱容量	2017年4月3日16時	○	
28	旭川幹線	187kV	西滝川変電所	→	西旭川変電所	225	251	熱容量	2016年11月30日5時 2017年1月26日5時	上位系制約によるゼロ	制約要因 187kV奈井江幹線
29	狩勝幹線	275kV	南早来変電所	→	北新得変電所	533	1,208	熱容量	2017年1月1日3時	—	
30	新得追分線	187kV	北新得変電所	→	追分開閉所	-135	198	熱容量	2016年11月8日4時	上位系制約によるゼロ	制約要因 送電線No.031
31	日高幹線	187kV	南早来変電所	→	岩清水開閉所	210	270	熱容量	2017年1月13日11時	○	
32	岩松西線	187kV	北新得変電所	→	北芽室変電所	120	245	熱容量	2017年1月25日4時	上位系制約によるゼロ	制約要因 送電線No.031
33	西音更線	187kV	北新得変電所	→	西音更変電所	250	307	熱容量	2017年1月24日5時	上位系制約によるゼロ	制約要因 送電線No.031
34	道東幹線	187kV	北新得変電所	→	宇円別変電所	213	290	熱容量	2016年11月7日18時	上位系制約によるゼロ	制約要因 送電線No.031
35	釧路北線	187kV	宇円別変電所	→	東釧路変電所	268	256	熱容量	2017年1月14日5時	上位系制約によるゼロ	制約要因 送電線No.031
36	西春別線	187kV	東釧路変電所	→	西春別変電所	126	195	熱容量	2017年2月1日5時	上位系制約によるゼロ	制約要因 送電線No.031
37	北本七飯線	187kV	電発函館変換所	→	北七飯変電所	-372	714	熱容量	2017年8月7日12時	—	
40	日勝幹線	187kV	新冠開閉所	→	北新得変電所	266	307	熱容量	2016年11月7日17時	上位系制約によるゼロ	制約要因 送電線No.031

①最大利用率	②空容量ゼロ「公表」送電線最大利用率	③ボトルネック箇所最大利用率	備考 運用容量超過理由
20.8%			
48.9%			
65.7%			
70.3%			
53.9%			
37.7%			
55.8%			
90.6%			
174.2%	174.2%	174.2%	※2
168.1%	168.1%	168.1%	※2
113.5%	113.5%	113.5%	※2
93.7%			
81.1%			
51.5%			
145.7%	145.7%	145.7%	※2
98.1%			
100.0%			
77.2%			
58.0%			
35.7%			
59.8%	59.8%	59.8%	
83.1%	83.1%		
58.7%	58.7%		
86.2%	86.2%		
51.2%	51.2%	51.2%	
75.9%	75.9%	75.9%	
89.6%	89.6%		
44.1%			
68.2%	68.2%		
77.8%	77.8%	77.8%	
49.0%	49.0%		
81.4%	81.4%		
73.4%	73.4%		
104.7%	104.7%		※1
64.6%	64.6%		
52.1%			
86.6%	86.6%		

● フェンス管理箇所情報

フェンス No	フェンス名	電圧 (kV)	潮流方向		潮流実績値 (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	最大発生日時	空容量ゼロ (空きゼロ:○)	備考
	該当なし									

①最大利用率	②空容量ゼロ「公表」送電線最大利用率	③ボトルネック箇所最大利用率	備考 運用容量超過理由

平均 76.9% 90.1% 108.3%

◆ 地内基幹送電線における最大「潮流実績」及び最大潮流実績発生日時の「運用容量値」(対象期間:2016年9月1日～2017年8月31日)

(運用容量超過理由) ※1 フリッジ  
 ※2 N-1電制(抑制含む)考慮  
 ※3 系統切替までの間の一時的な超過  
 ※4 災害による設備復旧途上による超過  
 ※5 想定を超える需要増による一時的な超過(設備対策済)

エリア:東北電力株式会社

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	潮流方向			潮流実績値 (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	最大発生日時		空容量ゼロ (空きゼロ:○)	備考
1	十和田幹線	500	上北	→	岩手	-606	4,936	熱容量	2017/2/6	4:00	上位系制約によるゼロ	制約:No.13奥羽幹線
2	北上幹線	500	岩手	→	宮城	-1,044	4,936	熱容量	2017/2/6	4:00	上位系制約によるゼロ	制約:No.13奥羽幹線
3	青葉幹線	500	宮城	→	西仙台	-1,484	4,936	熱容量	2017/2/20	19:00	-	
4	常磐幹線	500	西仙台	→	南相馬	2,800	4,936	熱容量	2017/7/24	15:00	-	
5	北青幹線	275	上北	→	青森	-417	1,344	熱容量	2017/6/22	7:30	上位系制約によるゼロ	制約:No.13奥羽幹線
6	北奥幹線	275	能代	→	青森	762	1,402	熱容量	2016/12/8	5:30	上位系制約によるゼロ	制約:No.13奥羽幹線
7	北部幹線	275	上北	→	岩手	250	904	熱容量	2017/4/9	14:30	上位系制約によるゼロ	制約:No.13奥羽幹線
8	大瀧幹線	275	能代	→	秋田	804	1,809	熱容量	2017/2/6	19:00	上位系制約によるゼロ	制約:No.13奥羽幹線
9	秋盛幹線	275	秋田	→	雫石	632	772	熱容量	2016/11/8	18:00	上位系制約によるゼロ	制約:No.13奥羽幹線
10	岩手幹線	275	雫石	→	岩手	660	904	熱容量	2016/11/8	17:30	上位系制約によるゼロ	制約:No.13奥羽幹線
11	秋田幹線	275	秋田	→	羽後	586	904	熱容量	2016/11/8	17:30	上位系制約によるゼロ	制約:No.13奥羽幹線
12	早池峰幹線	275	岩手	→	水沢	-300	904	熱容量	2017/1/30	4:30	上位系制約によるゼロ	制約:No.13奥羽幹線
13	奥羽幹線	275	羽後	→	宮城	444	723	熱容量	2017/4/11	14:30	○	
14	水沢幹線	275	水沢	→	宮城	-541	904	熱容量	2017/2/6	4:00	上位系制約によるゼロ	制約:No.13奥羽幹線
15	陸羽幹線	275	宮城	→	新庄	736	1,547	熱容量	2017/7/11	15:00	上位系制約によるゼロ	制約:下位系(154kV)
16	山形幹線	275	新庄	→	西山形	496	1,357	熱容量	2017/7/11	16:00	上位系制約によるゼロ	制約:下位系(154kV)
17	鳴瀬幹線	275	石巻	→	宮城	-452	1,547	熱容量	2017/2/20	14:00	-	
18	宮城幹線	275	宮城	→	仙台	-1,250	1,205	熱容量	2017/3/8	5:00	-	
19	仙台幹線	275	西仙台	→	仙台	1,030	1,064	熱容量	2017/2/27	18:00	-	
20	新仙台火力A線	275	東仙台	→	仙台	1,100	1,205	熱容量	2016/10/24	10:00	-	
21	朝日幹線	275	越後	→	西仙台	1,996	2,584	熱容量	2017/1/16	10:30	上位系制約によるゼロ	制約:No.35本名変電所Tr1,3号
22	蔵王幹線	275	西仙台	→	米沢	-536	698	熱容量	2017/3/18	18:30	-	
23	吾妻幹線	275	米沢	→	福島	1,102	1,414	熱容量	2017/3/27	11:00	-	
24	北新幹線	275	北新潟	→	越後	1,506	1,809	熱容量	2017/7/11	19:00	上位系制約によるゼロ	制約:No.35本名変電所Tr1,3号
25	五頭幹線	275	越後	→	新潟	872	1,809	熱容量	2016/11/8	11:00	上位系制約によるゼロ	制約:No.35本名変電所Tr1,3号
26	中越幹線	275	越後	→	中越	1,126	1,809	熱容量	2017/1/16	17:30	上位系制約によるゼロ	制約:No.35本名変電所Tr1,3号
27	飯豊幹線	275	新潟	→	米沢	755	904	熱容量	2017/3/25	18:30	上位系制約によるゼロ	制約:No.35本名変電所Tr1,3号
28	新潟幹線	275	新潟	→	本名	447	529	熱容量	2017/3/25	18:30	上位系制約によるゼロ	制約:No.35本名変電所Tr1,3号
29	東北幹線	275	本名	→	米沢	730	917	熱容量	2017/3/15	10:00	-	
30	相福幹線	275	南相馬	→	福島	994	1,414	熱容量	2017/4/28	18:30	上位系制約によるゼロ	制約:No.35本名変電所Tr1,3号
31	阿武隈幹線	275	福島	→	須賀川	746	1,414	熱容量	2016/11/22	6:30	-	
32	勿来幹線	275	いわき	→	須賀川	566	904	熱容量	2017/1/1	13:00	-	
33	いわき幹線	275	南相馬	→	新福島	480	1,184	熱容量	2016/11/13	14:30	上位系制約によるゼロ	制約:No.35本名変電所Tr1,3号
34	東上越幹線	275	信濃川	→	東上越	370	904	熱容量	2017/2/11	11:00	上位系制約によるゼロ	制約:No.35本名変電所Tr1,3号
	【制約変圧器(未収集)】											
	本名変電所Tr1,3号	275/154	275	→	154	-196	112	熱容量	2017/8/12	3:00	○	

【補足】新潟幹線の2016/10/7 10:30 の記録は954MWであったが、前後データで0MW、かつ突出した値であったことからエラーデータとし除外した。

①最大利用率	②空容量ゼロ「公表」送電線最大利用率	③ボトルネック箇所最大利用率	備考 運用容量超過理由
12.3%	12.3%		
21.2%	21.2%		
30.1%			
56.7%			
31.0%	31.0%		
54.4%	54.4%		
27.7%	27.7%		
44.4%	44.4%		
81.9%	81.9%		
73.0%	73.0%		
64.8%	64.8%		
33.2%	33.2%		
61.4%	61.4%	61.4%	
59.8%	59.8%		
47.6%	47.6%		
36.6%	36.6%		
29.2%			
103.7%			※5
96.8%			
91.3%			
77.2%	77.2%		
76.8%			
77.9%			
83.3%	83.3%		
48.2%	48.2%		
62.2%	62.2%		
83.5%	83.5%		
84.5%	84.5%		
79.6%			
70.3%	70.3%		
52.8%			
62.6%			
40.5%	40.5%		
40.9%	40.9%		
		175.0%	※4

● フェンス管理箇所情報

フェンス No	フェンス名	電圧 (kV)	潮流方向	潮流実績	運用容量	運用容量制約要因	最大発生日時	空容量ゼロ (空きゼロ:○)	備考
	該当なし								

①最大利用率	②空容量ゼロ「公表」送電線最大利用率	③ボトルネック箇所最大利用率	備考 運用容量超過理由

平均 58.7% 53.9% 118.2%

◆ 地内基幹送電線における最大「潮流実績」及び最大潮流実績発生日時の「運用容量値」(対象期間:2016年9月1日～2017年8月31日)

[運用容量超過理由] ※1 フリッジ  
※2 N-1電制(抑制含む)考慮  
※3 系統切替までの間の一時的な超過  
※4 災害による設備復旧途上による超過  
※5 想定を超える需要増による一時的な超過(設備対策済)

エリア:東京電力パワーグリッド株式会社

Table with columns: 送電線 No, 送電線名, 電圧 (kV), 潮流方向, 潮流実績値 (MW), 運用容量値 (MW), 運用容量制約要因, 最大発生日時, 空容量ゼロ (空きゼロ:○), 備考. Rows include lines like 新京葉線, 新佐原線, 川内線, etc.

Summary table with columns: ①最大利用率, ②空容量ゼロ「公表」送電線最大利用率, ③ボトルネック箇所最大利用率, 備考 運用容量超過理由. Rows correspond to the lines in the main table.

◆ 地内基幹送電線における最大「潮流実績」及び最大潮流実績発生日時の「運用容量値」(対象期間:2016年9月1日～2017年8月31日)

[運用容量超過理由] ※1 フリンジ  
※2 N-1電制(抑制含む)考慮  
※3 系統切替までの間の一時的な超過  
※4 災害による設備復旧途上による超過  
※5 想定を超える需要増による一時的な超過(設備対策済)

エリア:東京電力パワーグリッド株式会社

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	潮流方向	潮流実績値 (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	最大発生日時	空容量ゼロ (空きゼロ:○)	備考
54	中沢線1,2L	275	新所沢 → 中東京	940	1,684	熱容量	2016/11/30 18:30	—	
55	中沢線3,4L	275	新所沢 → 中東京						
56	南狭山線	275	新所沢 → 南狭山	2,600	3,511	熱容量	2016/9/6 19:00	—	
57	新座線	275	南狭山 → 新座	1,930	3,068	熱容量	2016/9/9 19:00	—	
58	北武蔵野線	275	新座 → 練馬	570	732	熱容量	2016/9/6 19:00	—	
59	城北線(廃止)	275	新座 → 豊島	-670	1,089	熱容量	2016/9/4 6:00	—	現状は廃止
60	水道橋線	275	練馬 → 水道橋	-500	873	熱容量	2017/7/2 0:30	—	
61	東新宿水道橋線	275	水道橋 → 東新宿	200	342	熱容量	2017/3/27 9:30	—	
62	坂戸川越線(他社)	275	新坂戸 → 南川越	1,870	3,620	熱容量	2017/2/9 18:30	—	
63	西南川越線(他社)	275	南川越 → 多摩	740	852	熱容量	2017/2/9 18:30	○	
64	東京中線	275	新坂戸 → 北東京	1,140	1,810	熱容量	2017/8/9 15:00	—	
65	北与野線	275	上尾 → 北与野	340	504	熱容量	2017/8/9 13:30	—	
66	西越谷線	275	北東京 → 西越谷	590	905	熱容量	2017/1/20 17:30	—	
67	春日部線	275	北東京 → 京北	1,560	1,810	熱容量	2017/1/20 10:00	—	
68	豊島線	275	豊島 → 京北	1,680	1,755	熱容量	2016/12/18 4:00	○	
69	東内幸町線	275	東内幸町 → 豊島	1,950	1,982	熱容量	2016/12/18 4:00	○	
70	高輪線	275	高輪 → 東内幸町	1,950	2,034	熱容量	2016/12/18 4:00	○	
71	上野線	275	北葛飾 → 上野	1,208	1,302	熱容量	2017/3/27 12:00	上位系制約によるゼロ	上位系制約: フェンスNo.1(新京葉線+新佐原線)
72	上野水道橋線	275	上野 → 水道橋	969	1,402	熱容量	2017/3/27 10:00	上位系制約によるゼロ	上位系制約: フェンスNo.1(新京葉線+新佐原線)
73	墨東線	275	北葛飾 → 永代橋	1,230	1,294	熱容量	2017/1/20 10:00	上位系制約によるゼロ	上位系制約: フェンスNo.1(新京葉線+新佐原線)
74	新豊洲線	500	新京葉 → 新豊洲	-1,830	1,920	熱容量	2017/12/18 1:00	上位系制約によるゼロ	上位系制約: フェンスNo.1(新京葉線+新佐原線)
75	江東線	275	新京葉 → 江東	1,570	1,810	熱容量	2017/2/9 17:30	上位系制約によるゼロ	上位系制約: フェンスNo.1(新京葉線+新佐原線)
76	城南線	275	江東 → 城南	962	990	熱容量	2017/3/27 11:00	上位系制約によるゼロ	上位系制約: フェンスNo.1(新京葉線+新佐原線)
77	葛南世田谷線	275	葛南 → 世田谷	930	1,017	熱容量	2017/1/10 2:00	上位系制約によるゼロ	上位系制約: フェンスNo.1(新京葉線+新佐原線)
78	世田谷線	275	世田谷 → 荏田	-1,250	1,766	熱容量	2016/11/16 10:00	上位系制約によるゼロ	上位系制約: フェンスNo.1(新京葉線+新佐原線)
79	豊洲内幸町線	275	新豊洲 → 東内幸町	970	1,617	熱容量	2016/12/18 2:00	上位系制約によるゼロ	上位系制約: フェンスNo.1(新京葉線+新佐原線)
80	豊洲永代橋線	275	新豊洲 → 永代橋	1,200	1,627	熱容量	2016/11/20 2:00	上位系制約によるゼロ	上位系制約: フェンスNo.1(新京葉線+新佐原線)
	【制約変圧器(未収集)】								
	新富士変電所1,2B	500/275	500kV → 275kV	1,660	1,710	熱容量	2017/1/18 13:00	○	
	新秦野変電所3,4B	500/275	500kV → 275kV	-2,890	2,850	熱容量	2017/3/15 1:30	○	

①最大利用率	②空容量ゼロ「公表」送電線最大利用率	③ボトルネック箇所最大利用率	備考 運用容量超過理由
55.8%			
74.1%			
62.9%			
77.9%			
61.5%			
57.3%			
58.5%			
51.7%			
86.9%	86.9%	86.9%	
63.0%			
67.5%			
65.2%			
86.2%			
95.7%	95.7%	95.7%	
98.4%	98.4%	98.4%	
95.9%	95.9%	95.9%	
92.8%	92.8%		
69.1%	69.1%		
95.1%	95.1%		
95.3%	95.3%		
86.7%	86.7%		
97.2%	97.2%		
91.4%	91.4%		
70.8%	70.8%		
60.0%	60.0%		
73.8%	73.8%		
		97.1%	
		101.4%	※2

● フェンス管理箇所情報

フェンス No	フェンス名	電圧 (kV)	潮流方向	潮流実績	運用容量	運用容量 制約要因	最大発生日時	空容量ゼロ (空きゼロ:○)	備考
1	新京葉線+新佐原線	500	新京葉、新佐原)→(新古河、新筑波	13,340	13,500	熱容量	2017/1/16 3:00	○	

①最大利用率	②空容量ゼロ「公表」送電線最大利用率	③ボトルネック箇所最大利用率	備考 運用容量超過理由
98.8%	98.8%	98.8%	

平均 73.5% 90.8% 108.5%

◆ 地内基幹送電線における最大「潮流実績」及び最大潮流実績発生日時の「運用容量値」(対象期間:2016年9月1日～2017年8月31日)

[運用容量超過理由] ※1 フリッジ  
※2 N-1電制(抑制含む)考慮  
※3 系統切替までの間の一時的な超過  
※4 災害による設備復旧途上による超過  
※5 想定を超える需要増による一時的な超過(設備対策済)

エリア:中部電力株式会社

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	潮流方向	潮流実績値 (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	最大発生日時		空容量ゼロ (空きゼロ:○)	備考
1	三岐幹線	500	三重 → 岐阜	-	-	-	-	-	-	フェンスNo.1
2	三重連絡線	500	三重 → 西部	1,562	3,784	熱容量	2017/8/20	14:30	-	
3	西部幹線	500	西部 → 北部	-	-	-	-	-	-	フェンスNo.1
4	愛岐幹線	500	岐阜 → 愛知	-	-	-	-	-	-	フェンスNo.2
5	東部幹線	500	北部 → 東部	-	-	-	-	-	-	フェンスNo.2
6	岐阜連絡線	500	岐阜 → 北部	1,237	3,784	熱容量	2017/3/21	14:30	-	
7	越美幹線	500	岐阜 → 南福光	306	4,936	熱容量	2017/2/10	11:30	-	
8	豊根幹線	500	愛知 → 豊根	-	-	-	-	-	-	フェンスNo.3
9	東栄幹線	500	東部 → 東栄	-	-	-	-	-	-	フェンスNo.3
10	新三河幹線	500	東部 → 新三河	-2,406	4,936	熱容量	2016/12/18	13:30	-	
11	豊根連絡線	500	東栄 → 豊根	1,256	3,784	熱容量	2016/11/3	17:30	-	
12	南信幹線	500	豊根 → 南信	-1,698	4,936	熱容量	2017/5/28	11:00	-	
13	信濃幹線	500	南信 → 信濃	-1,586	3,784	熱容量	2017/5/28	11:00	-	
14	駿遠幹線	500	東栄 → 駿遠	-	-	-	-	-	-	フェンスNo.4
15	静岡幹線	500	豊根 → 静岡	-	-	-	-	-	-	フェンスNo.4
16	静岡連絡線	500	静岡 → 駿遠	1,409	3,784	熱容量	2016/9/27	16:30	-	
17	鈴鹿幹線	275	西部 → 鈴鹿	1,075	1,290	電圧安定性	2016/12/30	21:30	上位系制約によるゼロ	西部変電所(変圧器)
18	伊勢幹線	275	鈴鹿 → 伊勢	1,081	1,290	電圧安定性	2016/12/30	21:30	上位系制約によるゼロ	西部変電所(変圧器)
19	伊勢南勢線	275	伊勢 → 南勢	599	1,438	系統保護Ry	2017/1/23	18:00	上位系制約によるゼロ	西部変電所(変圧器)
20	伊勢中勢線	275	伊勢 → 中勢	664	1,180	熱容量	2016/12/30	18:30	上位系制約によるゼロ	西部変電所(変圧器)
21	尾鷲伊勢線	275	伊勢 → 尾鷲	-553	1,056	熱容量	2017/6/5	15:00	上位系制約によるゼロ	西部変電所(変圧器)
22	西部西名古屋線	275	西部 → 西名古屋	-1,514	1,810	熱容量	2017/5/20	22:30	上位系制約によるゼロ	西部変電所(変圧器)
23	亀山西名古屋線	275	西名古屋 → 亀山	1,042	1,180	熱容量	2017/3/5	19:00	上位系制約によるゼロ	西部変電所(変圧器)
24	中勢亀山線	275	亀山 → 中勢	616	1,180	熱容量	2017/3/5	18:00	上位系制約によるゼロ	西部変電所(変圧器)
25	西部西尾張線	275	西部 → 西尾張	-2,991	5,349	熱容量	2017/3/4	6:30	上位系制約によるゼロ	西部変電所(変圧器)
26	西名古屋西尾張線	275	西尾張 → 西名古屋	-2,967	4,988	熱容量	2017/2/21	20:00	上位系制約によるゼロ	西部変電所(変圧器)
27	川越火力線	275	西名古屋 → 川越	-3,019	5,160	熱容量	2017/2/21	20:30	上位系制約によるゼロ	西部変電所(変圧器)
28	西尾張海部線	275	西尾張 → 海部	-1,003	2,620	熱容量	2017/3/4	3:30	上位系制約によるゼロ	西部変電所(変圧器)
29	海部牛島町線	275	海部 → 牛島町	-1,004	1,280	熱容量	2017/3/4	3:30	上位系制約によるゼロ	西部変電所(変圧器)
30	名城松ヶ枝線	275	名城 → 松ヶ枝	-1,129	1,280	熱容量	2017/3/4	3:30	上位系制約によるゼロ	西部変電所(変圧器)
31	西濃西部線	275	西部 → 西濃	1,411	2,620	熱容量	2017/1/24	18:00	上位系制約によるゼロ	西部変電所(変圧器)
32	北部西濃線	275	北部 → 西濃	1,189	2,171	熱容量	2016/9/13	16:00	-	
33	北部中濃線	275	北部 → 中濃	1,574	2,158	系統保護Ry	2016/10/20	17:30	-	
34	中濃犬山線	275	中濃 → 犬山	1,189	2,715	熱容量	2017/3/10	8:30	-	
35	馬瀬北部線	275	北部 → 馬瀬	802	1,023	熱容量	2017/2/22	6:00	○	
36	高根馬瀬線	275	馬瀬 → 高根	765	1,023	熱容量	2016/11/10	17:30	上位系制約によるゼロ	馬瀬北部線
37	高根中信線	275	高根 → 中信	524	1,357	電圧安定性	2017/5/13	19:00	上位系制約によるゼロ	馬瀬北部線
38	信濃中信線	275	信濃 → 中信	852	1,679	熱容量	2016/12/7	18:00	上位系制約によるゼロ	信濃変電所(変圧器)
39	信濃東信線	275	信濃 → 東信	-1,928	4,072	熱容量	2017/3/12	12:30	上位系制約によるゼロ	信濃変電所(変圧器)
40	東信新北信線	275	東信 → 新北信	-2,036	3,440	熱容量	2017/3/12	11:30	上位系制約によるゼロ	信濃変電所(変圧器)
41	佐久幹線	275	信濃 → 佐久	168	1,777	熱容量	2017/4/11	10:00	上位系制約によるゼロ	信濃変電所(変圧器)
42	佐久間西幹里線	275	東部 → 電名	264	1,810	熱容量	2017/6/17	19:30	-	
43	愛知分岐線	275	愛知 → 電名	1,237	2,715	熱容量	2017/1/10	8:30	-	
44	犬山電名線	275	電名 → 犬山	2,186	2,620	熱容量	2017/1/16	17:00	-	
45	電名瀬戸線	275	電名 → 瀬戸	-1,590	3,066	熱容量	2017/1/17	9:00	-	
46	愛知瀬戸線	275	愛知 → 瀬戸	-1,835	4,072	熱容量	2016/9/26	14:00	-	
47	瀬戸北豊田線	275	瀬戸 → 北豊田	-3,227	3,400	安定度	2017/3/21	16:00	○	
48	東浦北豊田線	275	北豊田 → 東浦	-3,144	5,349	熱容量	2016/11/25	18:00	上位系制約によるゼロ	瀬戸北豊田線
49	東名古屋分岐線	275	分岐点 → 東名古屋	-1,021	1,740	熱容量	2017/3/16	6:30	上位系制約によるゼロ	瀬戸北豊田線
50	知多火力東浦線	275	東浦 → 知多火力	-3,161	3,936	熱容量	2016/11/25	18:00	上位系制約によるゼロ	瀬戸北豊田線

①最大利用率	②空容量ゼロ「公表」送電線最大利用率	③ボトルネック箇所最大利用率	備考 運用容量超過理由
41.3%			
32.7%			
6.2%			
48.7%			
33.2%			
34.4%			
41.9%			
37.2%			
83.3%	83.3%		
83.8%	83.8%		
41.7%	41.7%		
56.3%	56.3%		
52.4%	52.4%		
83.6%	83.6%		
88.3%	88.3%		
52.2%	52.2%		
55.9%	55.9%		
59.5%	59.5%		
58.5%	58.5%		
38.3%	38.3%		
78.4%	78.4%		
88.2%	88.2%		
53.9%	53.9%		
54.8%			
72.9%			
43.8%			
78.4%	78.4%	78.4%	
74.8%	74.8%		
38.6%	38.6%		
50.7%	50.7%		
47.3%	47.3%		
59.2%	59.2%		
9.5%	9.5%		
14.6%			
45.6%			
83.4%			
51.9%			
45.1%			
94.9%	94.9%	94.9%	
58.8%	58.8%		
58.7%	58.7%		
80.3%	80.3%		

◆ 地内基幹送電線における最大「潮流実績」及び最大潮流実績発生日時の「運用容量値」(対象期間:2016年9月1日～2017年8月31日)

[運用容量超過理由] ※1 フリッジ  
※2 N-1電制(抑制含む)考慮  
※3 系統切替までの間の一時的な超過  
※4 災害による設備復旧途上による超過  
※5 想定を超える需要増による一時的な超過(設備対策済)

エリア:中部電力株式会社

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	潮流方向	潮流実績値 (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	最大発生日時		空容量ゼロ (空きゼロ:○)	備考
51	東部北豊田線	275	東部 → 北豊田	-985	3,070	系統保護Ry	2016/12/3	0:30	上位系制約によるゼロ	東部変電所(変圧器)
52	北豊田梅森線	275	北豊田 → 梅森	-984	2,136	熱容量	2017/5/8	2:30	上位系制約によるゼロ	東部変電所(変圧器)
53	梅森金山線	275	梅森 → 金山	-1,009	1,040	熱容量	2016/12/3	0:30	上位系制約によるゼロ	東部変電所(変圧器)
54	金山松ヶ枝線	275	金山 → 松ヶ枝	-1,054	1,040	熱容量	2017/4/1	8:00	上位系制約によるゼロ	東部変電所(変圧器)
55	南武平町松ヶ枝線	275	松ヶ枝 → 南武平町	-918	1,040	熱容量	2017/1/3	17:00	上位系制約によるゼロ	東部変電所(変圧器)
56	下広井南武平町線	275	南武平町 → 下広井	-995	1,180	熱容量	2017/1/3	17:00	上位系制約によるゼロ	東部変電所(変圧器)
57	東海下広井線	275	下広井 → 東海	-997	1,480	熱容量	2017/2/23	19:00	上位系制約によるゼロ	東部変電所(変圧器)
57	東海松ヶ枝線	275	松ヶ枝 → 東海	-578						
58	知多第二東海線	275	東海 → 知多第二	1,265	1,357	熱容量	2016/9/17	23:00	上位系制約によるゼロ	東部変電所(変圧器)
59	佐久間西幹線	275	東部 → 佐久間	-555	668	熱容量	2017/8/18	1:00	上位系制約によるゼロ	東部変電所(変圧器)
60	佐久間川根線	275	佐久間 → 川根	-402	760	熱容量	2017/5/8	17:30	上位系制約によるゼロ	東部変電所(変圧器)
61	東名古屋東部線	275	東部 → 東名古屋	-2,042	2,038	熱容量	2017/1/24	20:30	上位系制約によるゼロ	東部変電所(変圧器)
62	知多火力線	275	東名古屋 → 知多火力	-2,134	2,217	熱容量	2016/12/12	19:00	上位系制約によるゼロ	東部変電所(変圧器)
63	三河線	275	新三河 → 三河	1,880	2,199	熱容量	2017/2/3	22:30	上位系制約によるゼロ	東部変電所,新三河変電所(変圧器)
64	額田三河線	275	三河 → 額田	-1,797	2,442	熱容量	2017/6/10	20:30	上位系制約によるゼロ	東部変電所,新三河変電所(変圧器)
65	東部額田線	275	東部 → 額田	-1,847	1,680	熱容量	2016/11/6	12:30	上位系制約によるゼロ	東部変電所,新三河変電所(変圧器)
66	額田幸田線	275	額田 → 幸田	-3,297	3,360	熱容量	2017/6/10	23:30	上位系制約によるゼロ	東部変電所,新三河変電所(変圧器)
67	幸田新三河線	275	新三河 → 幸田	-2,171	2,715	熱容量	2017/2/4	7:00	上位系制約によるゼロ	東部変電所,新三河変電所(変圧器)
68	幸田碧南線	275	幸田 → 碧南	-3,660	3,650	安定度	2017/1/29	10:30	上位系制約によるゼロ	東部変電所,新三河変電所(変圧器)
69	湖西三河線	275	三河 → 湖西	-1,126	2,587	熱容量	2017/4/11	12:30	上位系制約によるゼロ	東部変電所,新三河変電所(変圧器)
70	田原湖西線	275	湖西 → 田原	-1,288	2,587	熱容量	2017/4/7	11:00	上位系制約によるゼロ	東部変電所,新三河変電所(変圧器)
71	三河遠江線	275	三河 → 遠江	824	1,370	熱容量	2017/2/3	20:30	上位系制約によるゼロ	東部変電所,新三河変電所(変圧器)
72	遠江駿遠線	275	駿遠 → 遠江	892	1,225	熱容量	2016/9/8	14:30	—	
73	浜岡駿遠線	275	駿遠 → 浜岡	382	1,381	熱容量	2016/12/15	11:00	—	
74	浜岡新佐倉線	275	浜岡 → 新佐倉	282	376	熱容量	2016/9/22	16:00	—	
75	駿遠駿河線	275	駿遠 → 駿河	749	2,715	熱容量	2017/8/9	18:00	—	
76	駿河東清水線	275	駿河 → 東清水	462	1,221	熱容量	2017/7/18	15:30	○	
77	牛島町名城線	275	牛島町 → 名城	-1,024	1,280	熱容量	2017/3/4	3:30	上位系制約によるゼロ	西部変電所(変圧器)
【制約変圧器(未収集)】										
	西部変電所	500/275	500kV→275kV	2,051	2,565	熱容量			○	
	東部変電所	500/275	500kV→275kV	-2,722	2,850	熱容量			○	
	新三河変電所	500/275	500kV→275kV	-2,408	2,850	熱容量			○	
	信濃変電所	500/275	500kV→275kV	-1,601	1,900	熱容量			○	

①最大利用率	②空容量ゼロ「公表」送電線最大利用率	③ボトルネック箇所最大利用率	備考 運用容量超過理由
32.1%	32.1%		
46.1%	46.1%		
97.0%	97.0%		
101.3%	101.3%		※3
88.3%	88.3%		
84.3%	84.3%		
106.4%	106.4%		※3
93.2%	93.2%		
83.1%	83.1%		
52.9%	52.9%		
100.2%	100.2%		※3
96.3%	96.3%		
85.5%	85.5%		
73.6%	73.6%		
109.9%	109.9%		※3
98.1%	98.1%		
80.0%	80.0%		
100.3%	100.3%		※3
43.5%	43.5%		
49.8%	49.8%		
60.1%	60.1%		
72.8%			
27.7%			
75.0%			
27.6%			
37.8%	37.8%	37.8%	
80.0%	80.0%		
		80.0%	
		95.5%	
		84.5%	
		84.3%	

● フェンス管理箇所情報

フェンス No	フェンス名	電圧 (kV)	潮流方向	潮流実績	運用容量	運用容量制約要因	最大発生日時		空容量ゼロ (空きゼロ:○)	備考
1	1,3(三岐幹線+西部幹線)	500	三重,西部 → 岐阜,北部	2,650	6,226	熱容量	2017/4/26	21:00	—	
2	4,5(愛岐幹線+東部幹線)	500	岐阜,北部 → 愛知,東部	-2,955	6,226	熱容量	2016/12/23	23:30	—	
3	8,9(豊根幹線+東栄幹線)	500	愛知,東部 → 豊根,東栄	2,555	6,226	熱容量	2017/2/22	18:00	—	
4	14,15(駿遠幹線+静岡幹線)	500	東栄,豊根 → 駿遠,静岡	2,963	6,582	熱容量	2016/9/8	14:30	—	

①最大利用率	②空容量ゼロ「公表」送電線最大利用率	③ボトルネック箇所最大利用率	備考 運用容量超過理由
42.6%			
47.5%			
41.0%			
45.0%			

平均 61.5% 69.9% 79.3%

◆ 地内基幹送電線における最大「潮流実績」及び最大潮流実績発生日時の「運用容量値」(対象期間:2016年9月1日～2017年8月31日)

[運用容量超過理由] ※1 フリンジ  
※2 N-1電制(抑制含む)考慮  
※3 系統切替までの間の一時的な超過  
※4 災害による設備復旧途上による超過  
※5 想定を超える需要増による一時的な超過(設備対策済)

エリア:北陸電力株式会社

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	潮流方向		潮流実績値 (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	最大発生日時	空容量ゼロ (空きゼロ:○)	備考
1	加賀幹線	500	越前変電所	→	加賀変電所	-	-	-	-	フェンスNo.1,2,3
2	能登幹線	500	加賀変電所	→	中能登変電所	-	-	-	-	フェンスNo.4
3	能越幹線	500	南福光変電所	→	中能登変電所	-618	4,936	熱容量	2016/11/26 11:30	-
4	加賀福光線	500	加賀変電所	→	南福光変電所	-	-	-	-	フェンスNo.4
6	加賀東金津線	275	東金津変電所	→	新福井変電所	-	-	-	-	フェンスNo.1
7	東金津新福井線	275	東金津変電所	→	新福井変電所	-	-	-	-	フェンスNo.2
8	越前線	275	越前変電所	→	新福井変電所	-	-	-	-	フェンスNo.3
11	中央幹線	275	加賀変電所	→	城端開閉所	-879	-600	安定度	2017/7/10 19:00	○
12	新富山幹線	275	城端開閉所	→	新富山変電所	-868	-600	安定度	2017/7/10 19:00	○
14	南条越前線	275	越前変電所	→	南条変電所	-944	1,357	熱容量	2017/8/17 1:30	○
				→						
				→						

①最大利用率	②空容量ゼロ「公表」送電線最大利用率	③ボトルネック箇所最大利用率	備考 運用容量超過理由
12.5%			
146.5%	146.5%	146.5%	※3
144.7%	144.7%	144.7%	※3
69.6%	69.6%	69.6%	

● フェンス管理箇所情報

フェンス No	フェンス名	電圧 (kV)	潮流方向		潮流実績	運用容量	運用容量制約要因	最大発生日時	空容量ゼロ (空きゼロ:○)	備考
1	1,6(加賀幹線+加賀東金津線)	500	越前変電所	→	加賀変電所	-810	2,080	熱容量	2017/8/20 10:00	-
2	1,7(加賀幹線+東金津新福井線)	500	越前変電所	→	加賀変電所	-911	2,080	熱容量	2017/8/20 10:00	-
3	1,8(加賀幹線+越前線)	500	越前変電所	→	加賀変電所	1,049	2,894	熱容量	2017/1/25 1:30	-
4	2,4(能登幹線+加賀福光線)	500	加賀変電所	→	中能登変電所	-1,266	2,850	熱容量	2017/3/17 14:30	-

①最大利用率	②空容量ゼロ「公表」送電線最大利用率	③ボトルネック箇所最大利用率	備考 運用容量超過理由
38.9%			
43.8%			
36.2%			
44.4%			

平均 67.1% 120.2% 120.2%

◆ 地内基幹送電線における最大「潮流実績」及び最大潮流実績発生日時の「運用容量値」(対象期間:2016年9月1日～2017年8月31日)

エリア:関西電力株式会社

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	潮流方向		潮流実績値 (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	最大発生日時	空容量ゼロ (空きゼロ:○)	備考
1	播磨線	500	北摂	→ 西播	—	—	—	—	—	フェスNo.1,2,3
2	東播線	500	猪名川	→ 北摂	—	—	—	—	—	フェスNo.4,5,6
3	丹波線	500	京北	→ 猪名川	—	—	—	—	—	フェスNo.7,8,9
4	能勢線	500	西京都	→ 能勢	—	—	—	—	—	フェスNo.1,4,7
5	北河内線	500	新生駒	→ 西京都	—	—	—	—	—	フェスNo.2,5,8
6	南近江線	500	東近江	→ 新生駒	—	—	—	—	—	フェスNo.3,6,9
7	山城北線	500	南京都	→ 京北	2,210	3,062	熱容量	2017/3/21 13:00	—	
8	山城東線	500	東近江	→ 南京都	1,738	3,062	熱容量	2017/6/7 13:00	—	
9	播磨中央線	500	能勢	→ 山崎	2,018	3,290	熱容量	2016/9/8 13:00	—	
10	播磨西線	500	山崎	→ 西播	2,042	3,290	熱容量	2017/2/9 12:30	—	
11	播磨北線	500	大河内	→ 山崎	1,962	3,290	熱容量	2017/3/21 13:00	—	
12	大河内線	500	新綾部	→ 大河内	1,978	3,290	熱容量	2017/3/21 13:00	—	
13	新綾部線	500	新綾部	→ 能勢	3,092	3,290	熱容量	2017/6/17 14:30	—	
14	若狭幹線(山)	500	嶺南	→ 京北	1,386	3,062	熱容量	2017/1/26 10:30	—	
15	北近江線	500	嶺南	→ 東近江	920	3,290	熱容量	2017/6/30 20:30	—	
16	若狭幹線(里)	500	京北	→ 西京都	1,002	3,062	熱容量	2017/6/21 14:30	—	
17	丹後幹線	500	新綾部	→ 猪名川	1,754	3,062	熱容量	2017/7/14 11:00	—	
18	南大和線	500	東大和	→ 紀北	1,386	1,400	熱容量	2016/11/29 10:00	—	
19	北大和線	500	新生駒	→ 東大和	2,442	3,062	熱容量	2017/8/24 14:00	—	
20	山城南支線	500	南京都	→ 134T(北大和線)	1,386	3,290	熱容量	2017/5/24 7:30	—	
21	和泉線	500	信貴	→ 紀の川	1,498	3,062	熱容量	2016/12/11 22:30	—	
22	信貴線	500	新生駒	→ 信貴	3,148	4,200	安定度	2017/7/22 4:30	—	
23	西播線	275	西播	→ 姫路	441	673	熱容量	2016/12/13 17:30	—	
24	北神線(北摂～42T)	275	北摂	→ 42T	2,252	2,715	熱容量	2017/5/4 14:30	○	
25	北神線(42T～神戸)	275	42T	→ 神戸	1,046	2,288	熱容量	2017/7/10 1:30	—	
26	西神支線	275	42T(北神線)	→ 西神戸	1,922	2,288	熱容量	2017/5/19 13:00	上位系制約によるゼロ	北摂変電所(変圧器)
27	西神戸線	275	西神戸	→ 新加古川	2,978	3,400	安定度	2017/2/4 15:00	○	
28	新加古川伊丹線	275	新加古川	→ 伊丹	628	609	熱容量	2016/10/23 20:30	上位系制約によるゼロ	北摂変電所(変圧器)
29	六甲線	275	西神戸	→ 新神戸	1,478	2,416	熱容量	2017/1/23 18:30	上位系制約によるゼロ	北摂変電所(変圧器)
30	宝塚線	275	猪名川	→ 宝塚	1,746	2,296	熱容量	2016/9/17 20:30	○	
31	伊丹線	275	宝塚	→ 伊丹	958	1,523	熱容量	2017/2/14 19:00	○	
32	新神戸線	275	宝塚	→ 新神戸	992	1,049	熱容量	2016/10/23 8:30	○	
33	西大阪線	275	能勢	→ 西大阪	2,066	2,714	熱容量	2017/8/18 14:30	—	
34	北大阪線	275	宝塚	→ 北大阪	716	1,049	熱容量	2017/4/3 19:00	—	
35	西大阪東支線	275	西大阪	→ 17T(北大阪線)	1,174	1,144	熱容量	2017/8/18 14:30	—	
36	西京都線	275	西京都	→ 淀川	1,114	2,296	熱容量	2017/4/1 19:30	—	
37	淀川線	275	淀川	→ 北大阪	942	989	熱容量	2017/8/24 16:30	—	
38	喜撰山線	275	南京都	→ 喜撰山	1,042	1,357	熱容量	2017/3/30 14:30	—	
39	湖南線	275	喜線山	→ 湖南	930	1,357	熱容量	2017/8/25 16:30	—	
40	栗東線	275	湖南	→ 栗東	436	574	熱容量	2017/5/28 21:30	○	
41	甲賀線	275	南京都	→ 甲賀	532	804	熱容量	2016/11/30 17:00	—	
42	南京都線	275	南京都	→ 枚方	1,082	2,714	熱容量	2017/6/23 16:30	—	
43	東大阪線	275	枚方	→ 東大阪	652	989	熱容量	2017/6/23 16:30	—	
44	新生駒線	275	新生駒	→ 宝塚	1,910	2,000	安定度	2016/11/1 17:00	—	
45	東大阪新生駒線	275	新生駒	→ 東大阪	2,358	2,714	熱容量	2017/2/9 10:00	—	
46	泉南東大阪線(東大阪～109T)	275	東大阪	→ 109T(泉南東大阪線)	914	989	熱容量	2017/7/4 13:30	—	
47	泉南東大阪線(109T～泉南)	275	109T(泉南東大阪線)	→ 泉南	540	1,016	熱容量	2017/4/5 18:00	—	
48	金剛線	275	紀の川	→ 金剛	964	2,288	熱容量	2016/12/11 22:30	—	
49	南大阪線	275	金剛	→ 南大阪	912	2,714	熱容量	2016/9/20 17:00	—	
50	湖東線	275	嶺南	→ 湖東	694	1,148	熱容量	2017/2/21 9:00	—	
51	北葛城線	275	金剛	→ 北葛城	498	2,288	熱容量	2016/12/8 18:30	—	

[運用容量超過理由] ※1 フリンジ  
※2 N-1電制(抑制含む)考慮  
※3 系統切替までの間の一時的な超過  
※4 災害による設備復旧途上による超過  
※5 想定を超える需要増による一時的な超過(設備対策済)

①最大利用率	②空容量ゼロ「公表」送電線最大利用率	③ボルトネック箇所最大利用率	備考 運用容量超過理由
72.2%			
56.8%			
61.3%			
62.1%			
59.6%			
60.1%			
94.0%			
45.3%			
28.0%			
32.7%			
57.3%			
99.0%			
79.8%			
42.1%			
48.9%			
75.0%			
65.5%			
82.9%	82.9%	82.9%	
45.7%			
84.0%	84.0%		
87.6%	87.6%	87.6%	
103.1%	103.1%		※3
61.2%	61.2%		
76.0%	76.0%	76.0%	
62.9%	62.9%	62.9%	
94.6%	94.6%	94.6%	
76.1%			
68.3%			
102.6%			※3
48.5%			
95.2%			
76.8%			
68.5%			
76.0%	76.0%	76.0%	
66.2%			
39.9%			
65.9%			
95.5%			
86.9%			
92.4%			
53.1%			
42.1%			
33.6%			
60.5%			
21.8%			



◆ 地内基幹送電線における最大「潮流実績」及び最大潮流実績発生日時の「運用容量値」(対象期間:2016年9月1日～2017年8月31日)

[運用容量超過理由] ※1 フリンジ  
※2 N-1電制(抑制含む)考慮  
※3 系統切替までの間の一時的な超過  
※4 災害による設備復旧途上による超過  
※5 想定を超える需要増による一時的な超過(設備対策済)

エリア:関西電力株式会社

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	潮流方向		潮流実績値 (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	最大発生日時	空容量ゼロ (空きゼロ:○)	備考
52	西大阪小曾根線	275	西大阪	→ 小曾根・下穂積	333	1,150	熱容量	2017/7/31 14:30	-	
53	北豊中線	275	西大阪	→ 小曾根・下穂積・北豊中	646					
54	北和泉線	500	信貴	→ 金剛	1,646	3,062	熱容量	2017/7/31 19:00	-	
55	南和泉線	500	金剛	→ 紀の川	1,234	3,062	熱容量	2017/7/31 18:00	-	
【制約変圧器(未収集)】										
	北摂変電所 TrB2.5.6号	500/275	500kV→275kV		-2,489	2,500	熱容量	2017/3/4 13:00	○	

①最大利用率	②空容量ゼロ「公表」送電線最大利用率	③ボトルネック箇所最大利用率	備考 運用容量超過理由
85.1%			
53.8%			
40.3%			
		99.6%	

● フェンス管理箇所情報

フェンス No	フェンス名	電圧 (kV)	潮流方向		潮流実績	運用容量	運用容量制約要因	最大発生日時	空容量ゼロ (空きゼロ:○)	備考
1	1.4(播磨線+能勢線)	500	北摂→西播、西京都→能勢		5,470	6,100	電圧安定性	2017/6/14 10:00	-	
2	1.5(播磨線+北河内線)	500	北摂→西播、新生駒→西京都		5,100	6,100	電圧安定性	2017/6/14 10:00	-	
3	1.6(播磨線+南近江線)	500	北摂→西播、東近江→新生駒		5,024	5,100	電圧安定性	2017/6/30 9:00	-	
4	2.4(東播線+能勢線)	500	猪名川→北摂、西京都→能勢		5,958	6,100	電圧安定性	2017/6/14 10:00	-	
5	2.5(東播線+北河内線)	500	猪名川→北摂、新生駒→西京都		5,588	6,100	電圧安定性	2017/6/14 10:00	-	
6	2.6(東播線+南近江線)	500	猪名川→北摂、東近江→新生駒		5,110	5,100	電圧安定性	2017/7/12 12:00	-	
7	3.4(丹波線+能勢線)	500	京北→猪名川、西京都→能勢		5,556	6,000	電圧安定性	2017/6/25 11:00	-	
8	3.5(丹波線+北河内線)	500	京北→猪名川、新生駒→西京都		5,100	6,000	電圧安定性	2017/6/25 11:00	-	
9	3.6(丹波線+南近江線)	500	京北→猪名川、東近江→新生駒		5,060	5,400	電圧安定性	2016/9/8 15:00	-	

①最大利用率	②空容量ゼロ「公表」送電線最大利用率	③ボトルネック箇所最大利用率	備考 運用容量超過理由
89.7%			
83.6%			
98.5%			
97.7%			
91.6%			
100.2%			※1
92.6%			
85.0%			
93.7%			

平均 70.5% 80.9% 82.8%

◆ 地内基幹送電線における最大「潮流実績」及び最大潮流実績発生日時の「運用容量値」(対象期間:2016年9月1日～2017年8月31日)

[運用容量超過理由] ※1 フリンジ  
※2 N-1電制(抑制含む)考慮  
※3 系統切替までの間の一時的な超過  
※4 災害による設備復旧途上による超過  
※5 想定を超える需要増による一時的な超過(設備対策済)

エリア:中国電力株式会社

送電線No	送電線名	電圧(kV)	潮流方向		潮流実績値(MW)	運用容量値(MW)	運用容量制約要因	最大発生日時	空容量ゼロ(空きゼロ:○)	備考
1	中国西幹線	500	西島根(変)	→	新山口(変)	-	-	-	-	フェンスNo.1,2
2	中国中幹線	500	日野(変)	→	西島根(変)	-	-	-	-	フェンスNo.3,4
3	中国東幹線	500	智瀬(変)	→	日野(変)	-	-	-	-	フェンスNo.5
4	新山口幹線	500	東山口(変)	→	新山口(変)	-	-	-	-	フェンスNo.1
5	東山口幹線	500	新西広島(変)	→	東山口(変)	-	-	-	-	フェンスNo.2
6	西島根幹線	500	新西広島(変)	→	西島根(変)	-1,062	4,936	熱容量	2017年3月17日 12:30	-
7	新西広島幹線	500	新広島(変)	→	新西広島(変)	-	-	-	-	フェンスNo.3
8	新広島幹線	500	新岡山(変)	→	新広島(変)	-	-	-	-	フェンスNo.4
9	新岡山幹線	500	東岡山(変)	→	新岡山(変)	-	-	-	-	フェンスNo.5
10	北松江幹線	500	北松江(変)	→	日野(変)	-644	3,290	熱容量	2017年7月27日 16:00	-
11	日野幹線	500	新岡山(変)	→	日野(変)	1,010	3,290	熱容量	2016年11月7日 13:00	-
12	新山口連絡線	220	山口(変)	→	新山口(変)	631	1,232	熱容量	2017年7月4日 13:00	上位系制約によるゼロ 新山口変電所(変圧器)
13	山口幹線	220	山口(変)	→	新徳山(変)	273	394	熱容量	2016年11月24日 12:30	上位系制約によるゼロ 東山口変電所(変圧器)
14	南山口支線	220	山口幹線	→	南山口(変)	148	488	熱容量	2017年8月23日 18:30	上位系制約によるゼロ 東山口変電所(変圧器)
15	東山口連絡線	220	新徳山(変)	→	東山口(変)	-641	997	熱容量	2017年6月24日 16:30	上位系制約によるゼロ 東山口変電所(変圧器)
16	広島西幹線	220	広島(変)	→	新西広島(変)	-677	925	熱容量	2017年7月19日 12:30	-
17	広島中央線	220	広島西幹線	→	広島中央(変)	246	570	熱容量	2017年8月4日 14:30 2017年8月4日 15:30	-
18	作木支線	220	山陰幹線	→	作木(変)	226	359	熱容量	2017年1月16日 11:30	-
19	新広島連絡線	220	広島(変)	→	新広島(変)	-859	1,143	熱容量	2017年6月26日 12:30	フェンスNo.3および当該送電線個別でも運用容量管理
20	黒瀬幹線	220	黒瀬(変)	→	新広島(変)	-525	756	熱容量	2017年1月16日 9:00	-
21	北尾道支線	220	広島東幹線	→	北尾道(変)	417	723	熱容量	2017年2月9日 9:00	-
22	新岡山連絡線	220	井原(開)	→	新岡山(変)	-534	1,582	熱容量	2017年2月9日 9:00	-
23	井原連絡線	220	井原(開)	→	新岡山(変)	-561	1,549	熱容量	2017年2月9日 9:00	-
24	笠岡幹線	220	笠岡(変)	→	井原(開)	-778	715	熱容量	2017年4月19日 4:30	-
25	岡山幹線	220	新倉敷(変) [井原(開)]※1	→	岡山(変)	414	405	熱容量	2017年7月22日 16:30	-
26	新倉敷支線(廃止済:2016/12/9)※2	220	廃止済 [岡山幹線]※1	→	廃止済 [新倉敷(変)]※1	-417	517	熱容量	2016年12月6日 19:00	-
27	東岡山連絡線	220	岡山(変)	→	東岡山(変)	-426	828	熱容量	2017年2月10日 18:00	-
28	松江連絡線	220	松江(変)	→	北松江(変)	-424	791	熱容量	2017年7月27日 16:00	-
29	新鳥取連絡線	220	新鳥取(変)	→	智頭(変)	-274	523	熱容量	2016年12月11日 12:00	-
【制約変圧器(未収集)】										
	新山口変電所 No.1,2Tr	500/220	Tr1次(500kV)	→	Tr1次(220kV)	-1,214	1,235	熱容量	2017年7月4日 13:30	○
	東山口変電所 No.1,2Tr	500/220	Tr1次(500kV)	→	Tr1次(220kV)	-1,646	1,710	熱容量	2017年7月14日 17:00	○

※1 [ ]内は、新倉敷支線廃止まで  
※2 現在は岡山幹線の一部となっている

①最大利用率	②空容量ゼロ「公表」送電線最大利用率	③ボトルネック箇所最大利用率	備考 運用容量超過理由
21.5%			
19.6%			
30.7%			
51.2%	51.2%		
69.3%	69.3%		
30.3%	30.3%		
64.3%	64.3%		
73.2%			
43.2%			
63.0%			
75.2%			
69.4%			
57.7%			
33.8%			
36.2%			
108.8%			※1
102.2%			※1
85.5%			
51.4%			
53.6%			
52.4%			
		98.3%	
		96.3%	

● フェンス管理箇所情報

フェンスNo	フェンス名	電圧(kV)	潮流方向		潮流実績	運用容量	運用容量制約要因	最大発生日時	空容量ゼロ(空きゼロ:○)	備考
1	Aフェンス(No1, 4)	500	西向き		-3,825	4,330	電圧	2017年7月20日 13:30	-	
2	Bフェンス(No1, 5)	500	西向き		-4,827	5,320	電圧	2017年7月13日 14:30	-	
3	Cフェンス(No2, 7, 19)	500	西向き		-4,520	4,510	電圧	2017年7月13日 16:00	-	
4	Dフェンス(No2, 8)	500	西向き		-4,694	4,500	電圧	2017年1月24日 12:30	-	
5	中国東幹線, 新岡山幹線(No3, 9)	500	西向き		-3,459	4,050	電圧	2017年7月13日 16:00	-	

①最大利用率	②空容量ゼロ「公表」送電線最大利用率	③ボトルネック箇所最大利用率	備考 運用容量超過理由
88.3%			
90.7%			
100.2%			※1
104.3%			※1
85.4%			

平均 63.9% 53.8% 97.3%

◆ 地内基幹送電線における最大「潮流実績」及び最大潮流実績発生日時の「運用容量値」(対象期間:2016年9月1日～2017年8月31日)

エリア:四国電力株式会社

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	潮流方向		潮流実績値 (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	最大発生日時	空容量ゼロ (空きゼロ:○)	備考	
1	四国中央中幹線	500	川内変電所	→	東予変電所	840	2,060	安定度	2017/5/27 10:30	—	
2	四国中央東幹線	500	東予変電所	→	讃岐変電所	1,041	2,060	安定度	2017/2/21 15:00	—	
3	阿波幹線	500	阿波変電所	→	讃岐変電所	1,385	3,290	熱容量	2017/1/13 11:30	—	
4	南阿波幹線	500	阿南変換所	→	阿波変電所	1,958	3,290	熱容量	2017/1/13 16:30	—	
5	広見線	187	大洲変電所	→	広見変電所	206	638	熱容量	2017/8/25 18:00	—	
6	大洲北幹線・大洲南幹線	187	川内変電所	→	大洲変電所	325	1,914	熱容量	2017/8/25 17:00	—	大洲北幹線と大洲南幹線の合算値にて管理
7	松山幹線	187	川内変電所	→	松山変電所	484	842	熱容量	2017/1/23 18:30	—	
8	松山西線	187	松山変電所	→	北松山変電所	138	404	熱容量	2016/10/26 18:00	—	
9	松山東線	187	西条変電所	→	北松山変電所	101	300	熱容量	2016/11/28 17:30	—	松山東線と北松山線の合算値にて管理
10	北松山線	187	西条変電所	→	北松山変電所	101					
11	川内幹線	187	西条変電所	→	川内変電所	224	790	熱容量	2017/7/15 18:30	—	
12	西条線	187	西条変電所	→	東予変電所	366	988	熱容量	2017/3/26 12:00	—	
13	本川線	187	東予変電所	→	本川発電所	592	790	熱容量	2017/3/26 12:00	—	
14	高知幹線	187	本川発電所	→	高知変電所	278	842	熱容量	2017/3/11 3:00	—	
15	新改高知線	187	高知変電所	→	新改発電所	213	421	熱容量	2017/2/21 15:00	—	
16	新改幹線	187	新改発電所	→	井川変電所	193	300	熱容量	2016/9/28 14:30	—	
17	三島西線	187	東予変電所	→	三島変電所	261	988	熱容量	2017/2/18 18:00	—	
18	三島東線	187	三島変電所	→	井川変電所	192	307	熱容量	2016/9/1 16:30	—	
19	吉野川線	187	井川変電所	→	讃岐変電所	350	404	熱容量	2017/7/7 14:30	—	
20	香川線	187	香川変電所	→	讃岐変電所	349	448	熱容量	2017/6/1 15:00	—	
21	麻線	187	讃岐変電所	→	麻変電所	434	808	熱容量	2017/7/31 16:30	—	
22	高松線	187	讃岐変電所	→	高松変電所	375	1,212	熱容量	2017/8/24 17:30	—	
23	讃岐鳴門線	187	讃岐変電所	→	鳴門変電所	332	1,276	熱容量	2017/6/9 16:30	—	
24	大川支線	187	—	→	—	—	638	熱容量	—	—	データ未収集
25	阿波鳴門線	187	阿波変電所	→	鳴門変電所	444	923	熱容量	2017/8/3 18:00	—	
26	阿波国府線	187	阿波変電所	→	国府変電所	474	923	熱容量	2017/3/1 2:30	—	
				→							
				→							
				→							
				→							
				→							
				→							
				→							

[運用容量超過理由] ※1 フリンジ  
※2 N-1電制(抑制含む)考慮  
※3 系統切替までの間の一時的な超過  
※4 災害による設備復旧途上による超過  
※5 想定を超える需要増による一時的な超過(設備対策済)

①最大利用率	②空容量ゼロ「公表」送電線最大利用率	③ボトルネック箇所最大利用率	備考 運用容量 超過理由
40.8%			
50.5%			
42.1%			
59.5%			
32.3%			
17.0%			
57.5%			
34.2%			
67.3%			
28.4%			
37.0%			
74.9%			
33.0%			
50.6%			
64.3%			
26.4%			
62.5%			
86.6%			
77.9%			
53.7%			
30.9%			
26.0%			
48.1%			
51.4%			

● フェンス管理箇所情報

フェンス No	フェンス名	電圧 (kV)	潮流方向	潮流実績	運用容量	運用容量制約要因	最大発生日時	空容量ゼロ (空きゼロ:○)	備考
	該当なし								

①最大利用率	②空容量ゼロ「公表」送電線最大利用率	③ボトルネック箇所最大利用率	備考 運用容量 超過理由

平均	48.0%		
----	-------	--	--

◆ 地内基幹送電線における最大「潮流実績」及び最大潮流実績発生日時の「運用容量値」(対象期間:2016年9月1日~2017年8月31日)

エリア:九州電力株式会社

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	潮流方向		潮流実績値 (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	最大発生日時	空容量ゼロ (空きゼロ:○)	備考	
1	北九州幹線	500kV	脊振ss	→	北九州ss	1,452	4,936	熱容量	2017/6/8 14:00	-	
2	豊前北幹線	500kV	豊前s	→	北九州ss	2,527	4,936	熱容量	2017/8/28 11:00	-	
3	豊前西幹線	500kV	豊前ss	→	中央ss	1,879	3,291	熱容量	2017/1/18 9:00	-	
4	東九州幹線	500kV	東九州ss	→	豊前ss					-	フェンス1
5	脊振幹線	500kV	脊振ss	→	中央ss	-784	6,582	熱容量	2016/10/25 10:30	-	
6	佐賀幹線	500kV	西九州ss	→	中央ss					-	フェンス2
7	玄海幹線 2 L 南線	500kV	西九州ss	→	脊振ss					-	フェンス2
8	熊本幹線	500kV	熊本ss	→	中央ss	2,496	3,291	熱容量	2017/4/19 15:30	-	
9	中九州幹線	500kV	中九州ss	→	熊本ss	2,862	4,936	熱容量	2017/4/11 14:00	-	
10	南九州幹線	500kV	南九州ss	→	中九州ss					-	フェンス3
11	宮崎幹線	500kV	宮崎ss	→	南九州ss	-1,453	4,936	熱容量	2017/7/14 3:00	-	
12	槻田線	220kV	槻田sws	→	北九州ss	1,608	1,608	熱容量	2017/8/22 23:30	-	
13	西谷線	220kV	北九州ss	→	西谷ss	505	704	熱容量	2017/8/29 13:30	-	
14	北九州豊前線	220kV	豊前ss	→	北九州ss	488	702	熱容量	2016/12/23 16:30	-	
15	上津役線	220kV	北九州ss	→	上津役ss	415	704	熱容量	2017/8/24 17:30	-	
16	西谷門司線	220kV	西谷ss	→	門司ss	269	331	熱容量	2017/5/16 4:30	-	
17	苅田分岐線	220kV	苅田ss	→	西谷ss	218	352	熱容量	2016/11/29 12:30	-	
18	到津線	220kV	到津ss	→	槻田sws	452	435	熱容量	2017/8/22 23:30	○	
19	大分北線	220kV	西大分ss	→	豊前ss					-	フェンス1
20	大分南線	220kV	大分ss	→	西大分ss	1,005	1,224	熱容量	2017/2/15 7:30	-	
21	東大分線	220kV	東大分ss	→	大分ss	936	1,448	熱容量	2017/3/23 9:00	-	
22	山家線	220kV	中央ss	→	山家ss	1,128	1,408	熱容量	2017/8/28 12:30	-	
23	筑豊線	220kV	中央ss	→	筑豊ss	468	1,025	熱容量	2017/8/24 18:30	-	
24	山家東福岡線	220kV	山家ss	→	東福岡ss	934	1,297	熱容量	2017/8/28 12:30	-	
25	東福岡住吉線	220kV	東福岡ss	→	住吉ss	559	627	熱容量	2017/8/24 14:30	-	
26	唐津西九州線	220kV	西九州ss	→	唐津ss	178	704	熱容量	2017/1/24 18:00	-	
27	武雄線	220kV	西九州ss	→	武雄ss	1,001	1,001	熱容量	2016/9/16 18:30	-	
28	松島火力線北線	220kV	東佐世保ss	→	西九州ss	-1,586	1,586	熱容量	2017/1/13 14:00	-	
29	長崎幹線	220kV	武雄ss	→	長崎ss	605	704	熱容量	2017/8/4 18:30	-	
30	諫早分岐線	220kV	武雄ss	→	諫早ss	454	704	熱容量	2017/8/4 18:30	-	
31	鳥栖木佐木線	220kV	木佐木ss	→	鳥栖ss	514	704	熱容量	2017/6/8 14:00	-	
32	脊振鳥栖線	220kV	脊振ss	→	鳥栖ss	851	851	熱容量	2016/12/19 9:00	-	
33	木佐木三池線	220kV	三池ss	→	木佐木ss	631	704	熱容量	2017/6/8 14:30	-	
34	熊本南熊本線	220kV	南熊本ss	→	熊本ss	403	704	熱容量	2017/4/16 4:00	-	
35	熊本日田線	220kV	熊本ss	→	日田ss	-250	352	熱容量	2017/4/19 12:30	○	
36	中九州南熊本線	220kV	中九州ss	→	南熊本ss	823	823	熱容量	2017/3/7 18:30	-	
37	鹿児島北線	220kV	南九州ss	→	人吉ss					-	フェンス3
38	八代分岐線	220kV	中九州ss	→	八代ss	194	350	熱容量	2017/7/25 19:00	-	
39	鹿児島南線	220kV	南九州ss	→	鹿児島ss	401	401	熱容量	2017/1/10 18:30	-	
40	高野線	220kV	南九州ss	→	高野sws	574	1,298	熱容量	2017/2/10 18:30	-	
41	霧島分岐線	220kV	南九州ss	→	霧島ss	242	1,298	熱容量	2016/9/29 16:30	-	
42	都城線	220kV	高野sws	→	都城ss	326	1,025	熱容量	2017/2/15 7:00	-	
43	大隅線	220kV	高野sws	→	大隅ss	291	1,086	熱容量	2017/7/31 19:00	-	
44	南宮崎線	220kV	南宮崎ss	→	高野sws	-355	1,025	熱容量	2016/10/11 18:00	-	
45	海崎線	220kV	東九州ss	→	海崎ss	134	352	熱容量	2016/10/1 18:30	-	
46	脊振西福岡線	220kV	脊振ss	→	西福岡ss	749	2,172	熱容量	2017/7/25 14:00	-	
47	宮崎分岐線	220kV	南宮崎ss	→	宮崎ss	-626	1,448	熱容量	2017/7/17 19:00	-	
48	久留米分岐線	220kV	鳥栖ss	→	久留米ss	214	545	熱容量	2017/7/31 16:00	-	

〔運用容量超過理由〕※1 フリンジ  
※2 N-1電制(抑制含む)考慮  
※3 系統切替までの間の一時的な超過  
※4 災害による設備復旧途上による超過  
※5 想定を超える需要増による一時的な超過(設備対策済)

①最大利用率	②空容量ゼロ「公表」送電線最大利用率	③ボトルネック箇所最大利用率	備考 運用容量超過理由
29.4%			
51.2%			
57.1%			
11.9%			
75.8%			
58.0%			
29.4%			
100.0%			
71.7%			
69.5%			
58.9%			
81.3%			
61.9%			
103.9%	103.9%	103.9%	運転力率を考慮すると運用容量以内
82.1%			
64.6%			
80.1%			
45.7%			
72.0%			
89.2%			
25.3%			
100.0%			
100.0%			
85.9%			
64.5%			
73.0%			
100.0%			
89.6%			
57.2%			
71.0%	71.0%	71.0%	
100.0%			
55.4%			
100.0%			
44.2%			
18.6%			
31.8%			
26.8%			
34.6%			
38.1%			
34.5%			
43.2%			
39.3%			

◆ 地内基幹送電線における最大「潮流実績」及び最大潮流実績発生日時の「運用容量値」(対象期間:2016年9月1日～2017年8月31日)

エリア:九州電力株式会社

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	潮流方向		潮流実績値 (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	最大発生日時	空容量ゼロ (空きゼロ:○)	備考	
49	中央南福岡線	220kV	中央ss	→	南福岡ss	431	524	熱容量	2017/1/25 8:00	-	
50	北佐賀木佐木線	220kV	北佐賀ss	→	木佐木ss	559	1,448	熱容量	2017/1/26 7:30	-	
51	速見分岐線	220kV	西大分ss	→	速見ss	142	649	熱容量	2016/12/20 8:30	-	
52	脊振伊都線	220kV	脊振ss	→	伊都ss	182	369	熱容量	2017/2/10 18:30	-	
53	弓削分岐線	220kV	南熊本ss	→	弓削ss	240	772	熱容量	2017/8/1 19:00	-	

[運用容量超過理由] ※1 フリッジ  
※2 N-1電制(抑制含む)考慮  
※3 系統切替までの間の一時的な超過  
※4 災害による設備復旧途上による超過  
※5 想定を超える需要増による一時的な超過(設備対策済)

①最大利用率	②空容量ゼロ「公表」送電線最大利用率	③ボトルネック箇所最大利用率	備考 運用容量超過理由
82.3%			
38.6%			
21.9%			
49.3%			
31.1%			

● フェンス管理箇所情報

フェンス No	フェンス名	電圧 (kV)	潮流方向	潮流実績	運用容量	運用容量制約要因	最大発生日時	空容量ゼロ (空きゼロ:○)	備考
1	大分フェンス	500kV	北向き	2,920	2,998	熱容量	2017/1/20 12:00	-	
2	西部フェンス	500kV	東向き	2,791	7,200	安定度	2017/2/19 15:30	-	
3	南部フェンス	500kV	北向き	1,964	2,374	周波数	2017/5/20 15:30	-	

①最大利用率	②空容量ゼロ「公表」送電線最大利用率	③ボトルネック箇所最大利用率	備考 運用容量超過理由
97.4%			
38.8%			
82.7%			

平均 61.4% 87.5% 87.5%

◆ 地内基幹送電線における最大「潮流実績」及び最大潮流実績発生日時の「運用容量値」(対象期間:2016年9月1日～2017年8月31日)

[運用容量超過理由] ※1 フリッジ  
※2 N-1電制(抑制含む)考慮  
※3 系統切替までの間の一時的な超過  
※4 災害による設備復旧途上による超過  
※5 想定を超える需要増による一時的な超過(設備対策済)

エリア: 沖縄電力株式会社

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	潮流方向		潮流実績値 (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	最大発生日時	空容量ゼロ (空きゼロ:○)	備考
101・102	西原幹線	132kV	西原変電所	→ 牧港第一変電所	179.8	340	熱容量	2017年2月9日	—	
104/103・105	西友幹線/ 132kV与那原幹線・友寄幹線	132kV	西原変電所	→ 友寄変電所	145.8	261	熱容量	2016年10月6日	—	132kV与那原幹線作業停止
106・107	渡口幹線	132kV	渡口変電所	→ 吉の浦火力開閉所	192.8	652	熱容量	2016年9月16日	—	
108・109	中頭幹線	132kV	具志川火力開閉所	→ 渡口変電所	215.5	604	熱容量	2017年7月18日	—	中頭幹線1号作業停止
110・111	沖縄幹線	132kV	栄野比変電所	→ 牧港第一変電所	251.7	406	熱容量	2017年8月18日	—	沖縄幹線2号作業停止
112・113	具志川火力線	132kV	具志川火力開閉所	→ 栄野比変電所	100.8	379	熱容量	2017年1月20日	—	具志川火力線2号作業停止
114・115	具志川幹線	132kV	石川開閉所	→ 具志川火力開閉所	133.7	652	熱容量	2017年8月8日	—	
116・117	新栄野比幹線	132kV	石川火力変電所	→ 栄野比変電所	425.4	500	熱容量	2017年8月8日	—	新栄野比幹線1号作業停止
118・119	石川幹線	132kV	石川開閉所	→ 石川火力変電所	231.7	302	熱容量	2017年8月25日	—	石川幹線1号作業停止
120～123	金武幹線	132kV	金武火力変電所	→ 石川開閉所	317.7	690	熱容量	2017年8月16日	—	金武幹線1号作業停止
124～126	大平幹線	132kV	牧港第一変電所	→ 北那覇変電所	365.5	522	熱容量	2017年8月28日	—	
127・128	那覇幹線	132kV	北那覇変電所	→ 西那覇変電所	78.6	206	熱容量	2017年1月20日	—	那覇幹線2号作業停止
129・130	吉の浦火力線	132kV	吉の浦火力開閉所	→ 西原変電所	266.2	604	熱容量	2017年7月11日	—	吉の浦火力線2号作業停止
				→						
				→						

①最大利用率	②空容量ゼロ「公表」送電線最大利用率	③ボトルネック箇所最大利用率	備考 運用容量超過理由
52.9%			
55.9%			
29.6%			
35.7%			
62.0%			
26.6%			
20.5%			
85.1%			
76.7%			
46.0%			
70.0%			
38.2%			
44.1%			

● フェンス管理箇所情報

フェンス No	フェンス名	電圧 (kV)	潮流方向	潮流実績	運用容量	運用容量制約要因	最大発生日時	空容量ゼロ (空きゼロ:○)	備考
	該当なし								

①最大利用率	②空容量ゼロ「公表」送電線最大利用率	③ボトルネック箇所最大利用率	備考 運用容量超過理由

平均 **49.5%**